



第31回ビジネスプラン発表会～あすを支えるビジネスチャレンジコンテスト～

「ベンチャークラブちば大賞」

アミンファーマ研究所(株) 五十嵐 一衛 社長



脳梗塞リスク評価の測定法について発表

(公財)千葉県産業振興センター「ベンチャークラブちば」では、千葉県内のベンチャー企業の育成・支援を目的としたビジネスプラン発表会を開催している。書類選考(1次選考)とプレゼンテーション(2次選考)を勝ち抜いた5社が2月4日にプレゼンテーションを行い、当協会賛助会員のアミンファーマ研究所(株)が「ベンチャークラブちば大賞」に輝いた。

ビジネスプランのテーマは「尿中3-HPMA(3-ヒドロキシプロピルメルカプトール酸)による脳梗塞リスク評価の精度上昇」で、脳梗塞の重症化に伴って尿中代謝物(3-HPMA)の量が低下することに着目した3-HPMAの簡易測定法である。

当日の様子はNHK首都圏版のニュースでも放映され、五十嵐社長が表彰される場面も映った。

同社は五十嵐一衛氏(千葉大学名誉教授)が、平成19年に起業した千葉大学発ベンチャーである。「第39回(平成25年度)発明大賞」で「脳梗塞・無症候性脳梗塞のスクリーニング方法」が発明大賞本賞を受賞。細胞増殖因子ポリアミンの研究から、血液中にあるたんぱく質に結合しているアクロレインが脳梗塞患者に増えていることに着目し、脳梗塞の早期発見を実現したものだ。今回の受賞案件とともに、脳梗塞リスク評価技術の向上や認知症への実用化が期待されている。



表彰式にて。前列右から2番目が五十嵐氏